

大森東中学校 記録②

大田区立大森東中学校 中学 1 年生・2 学期 社会科歴史「中世のものづくり」

授業者インタビュー・選書用キーワード・指導案

<学習用ブックリスト作成手順ステップ（1）（2）（9）（10）>

図書館が授業支援を効果的に行うためには、図書館員は、授業者の意図を把握し、理解する必要があります。前年度のプロジェクトを通して得られた“授業者への聞きどころ”項目に沿って、授業者インタビューを行いました。今回のケースでは、授業者である小石先生は、ステップ（1）から（10）の時間をかけて、調べ学習の指導案を徐々に固めていきました。そのため、授業者インタビューも、9月27日と12月7日の2回行いました。

合わせて、最終的な調べ学習の指導案とブックリスト選書用キーワードもご紹介します。

1. 授業者インタビュー

平成 23 年 9 月 27 日（火）17:00-18:30 大森東中学校図書館

平成 23 年 12 月 7 日（木）17:00-18:30 大森東中学校図書館

【参加者】（敬称略）

小石都志子（大田区立大森東中学校 教諭）

鎌田和宏（帝京大学文学部教育学科・教職大学院教職研究科准教授）[9月27日のみ]

橋詰秋子、高宮光江、田中千穂子（国際子ども図書館児童サービス課）



授業者（小石先生）への聞きどころ項目とその回答	
授業について	教科単元 ・（小[注:小石先生] 9/27[注:9/27 時点での回答]）中学校 1 年生の社会科 日本の歴史 室町時代 →（小 12/7）調べ学習の授業テーマを「中世のものづくり」とすることにした。
	単元の学習目的（生徒に学んでほしいこと） ・（小 9/27）農業改革と商品経済の発展による民衆の力の伸長を理解する。この学区の生徒にとって身近な職人の仕事が、中世に端を発していることを感じさせたい。
	生徒数と生徒の様子 ・（小 9/27）1 年生 4 クラス（1 クラスは 30 人か 31 人）。読書が得意でなかったり、本を使って調べた経験があまりなかったりする生徒が多い。本に触れさせて、本から探す経験をさせたい。今回の授業は、調べの第一歩。
	生徒の調べ学習の経験 ・（小 9/27）調べの経験はあまりない。1 学期に 1 回「古代の寺と人物調べ」をした。
	調べ学習の授業日程 ・（小 9/27）2011 年 12 月初旬から 2 週間くらい（期末テスト後の落ち着いた時期） →（小 12/7）調べ作業をする授業は、12 月 12 日～20 日で実施する。

	<p>授業時間数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(小 9/27) 2 時間くらいか。 → (小 12/7) 3 時間。うち、本を使った調べ作業に 2 時間を当てる。 <p>調べ学習を行う場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(小 9/27) 教室または学校図書館。 → (小 12/7) 調べに当たられる時間が短いので、生徒が集中して作業できる教室で行う。 <p>調べのスタイル・調べた成果はどうするか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(小 9/27) 例えば、次のような授業が考えられる。授業者が「祇園祭」を題材に導入→教科書を使って講義→調べ作業→ポスター作成→まとめ。本は調べ作業で使う。調べ作業は班ごとに行う予定。 → (小 12/7) 「中世のものづくり」をテーマに、今のところ、以下のような指導案を考えている。〔注：小石先生は、その後、最終的な指導案を 12/12 の初回授業の様子を見て確定されました。〕 起 中世の庶民の暮らしを 1 時間講義した後で、絵本『絵で見る日本の歴史』を授業者がブックトーク。生徒には、この絵本の中世のページのコピーを配布する。 承 次の作業を班ごとに行う。①生徒は、与えられたテーマ（鍛冶屋、大工、農業など）をもとに、絵本のコピーを見て、その中に描かれている絵を読み取る。読み取ったことをカードに書く。 → ②他の資料を用いて、絵の典拠（例：職人尽図屏風）を探す。トレーシングペーパーを渡して、絵を書きうつさせる。 → ③百科事典などを使って、分からなかった言葉の意味を調べる。 転 調べたことを画用紙にまとめる。（作品作り） 結 各班の作品をつなぎあわせて、クラス単位で絵巻物を作る。 <p>授業の中で本を使う意図：</p> <p style="text-align: center;">〔 調べ学習の場合は、以下のどちらか 〕</p> <p style="text-align: center;">① 授業の一段階での調べ作業、②自由研究的な調べ学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(小 9/27) 「①授業の一段階での調べ作業」。生徒に教科書ではないテキスト（基本的な資料）を読ませたい。
資料について	<p>必要な本の主題</p> <p>⇒下記の選書用キーワードとして作成。〔注：小石先生と鎌田先生が、教科書から、経済の発展・技術の進展・仕事・文化に関するキーワードを抽出。〕</p> <p>インターネットの使用可否</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(小 9/27) 否。ただしインターネット情報の打ち出しをファイル資料として提供するのはいい。 <p>資料に載っていてほしい情報（例：統計、写真）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(小 9/27) 教科書で足りない情報を補足できる資料。職人の仕事を示した画像があるとよい。導入用の教材（祇園祭の DVD や新聞記事など）も提示していただけると助かる。 <p>必要な本の量（生徒一人当たりの冊数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(小 9/27) 1 クラス最大 31 人だが、1 人当たり 2 点くらいあるとよい。 ・(鎌〔注：鎌田先生〕 9/27) 冊数ではなく、情報源の単位で 2 点ほしいということ。

	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 刊行年の新しさ： (小 9/27) 新しくなくてもよい。 ・ 絵本・読物の扱い： (小 9/27) 物語などの読物は必要ない。絵本は、ビジュアル絵本ならよい。中世について書かれた部分は、本の一部だけでもよい。 ・ 大人向け一般書を含めるか： (小 9/27) 含めて良い。 ・ 複本の必要性： (小 9/27) 特に必要なし。→ (小 12/7) 生徒一人当たり 2 点以上の資料を準備したいので、よく使われると思われる特定タイトルについては複本も用意する。
	<p>授業後の発展学習用資料の提供を希望するか (例：学校図書館でのコーナー展示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (小 9/27) 今回はなくてよい。
資料以外	<p>図書館員による授業時間中のサポートを希望するか (例：調べ方の説明、資料の説明など)</p> <p>⇒今回は行わない。</p>
	<p>生徒用に情報源リストやパスファインダーの提供を希望するか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (小 9/27) 本を見てから検討する。 → (小 12/7) 今回の授業では必要なし。

2. 選書用キーワード (2011 年 10 月 3 日時点)

※下線は、最終的な指導案 (2011 年 12 月時点) で重視されたキーワード

カテゴリ	キーワード	カテゴリ	キーワード
貿易	銅銭、生糸、絹織物、書画 (明からの輸入品)	村	惣 (そう)、村のおきて、寄合、土一揆、徳政令
農業	<u>二毛作</u> 、 <u>牛馬耕</u> 、 <u>牛馬の糞や堆肥 (肥料)</u> 、 <u>麻</u> ・ <u>くわ</u> ・ <u>あい</u> ・ <u>茶</u> ・ <u>わたの栽培</u> 、 <u>特産物</u> 、 <u>田植え</u>	文化	禅宗、猿楽・田楽、能、狂言 金閣・銀閣、書院造 (東求堂同仁齋)、書画、生け花、茶の湯、千利休、水墨画、雪舟、庭園、龍安寺の石庭、河原者、お伽草子、連歌、学校 (足利学校)
手工業・技術	<u>職人</u> 、 <u>西陣の絹織物</u> 、 <u>陶器</u> ・ <u>紙</u> ・ <u>酒</u> ・ <u>油などの特産物</u> 、 <u>刀や農具をつくる</u> <u>鍛冶</u> ・ <u>鋳物業</u> 、 <u>金</u> ・ <u>銀</u> ・ <u>砂鉄の採掘</u> 、 <u>(銀の) 精錬技術</u>	衣	<u>烏帽子</u> 、 <u>狩衣</u> 、 <u>直衣</u> 、 <u>小袖</u>
商業	市 (市のにぎわい)、馬借 (ばしゃく)、問 (とい)、土倉・酒屋 (金融業)、行商人、座	食	精進料理、茶、和菓子
都市	自治組織、堺、博多、町衆、祇園祭	住	たたみ、床の間、年中行事 (お盆やお正月など)

3. 調べ学習の指導案（2012 年 12 月 最終案）

【単元】	日本の歴史 東アジア世界とのかかわりと社会の変動
【調べ学習のテーマ】	中世のものづくり～経済の発展と民衆の成長～
【調べ学習の位置付け】	当該単元の学習時間（全 10 時間）のうち、6 時間目、7 時間目、8 時間目の 3 時間を当てて、中世のものづくりをテーマとした調べ学習を行う。場所は、各クラスの教室で行う。
【教材・教具】	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書（東京書籍）、歴史資料集（浜島書店） ・調べ学習用ブックリスト掲載資料（約 120 冊）（ブックトラックに載せて、教室へ持ち込む） ・トレーシングペーパー、色鉛筆、のりとはさみ、色画用紙、絵巻物の材料
【調べ学習時の指導】	
学習のねらい	①経済の発展によって民衆の力が成長したことを理解するために、絵巻物に描かれている働く民衆の姿を図書から探して模写する。 ②模写することによって、歴史を調べる材料のひとつである絵画を丁寧に読み取る体験をする。 ③模写した作品を絵巻物にすることによって、中世にたくさん作られた絵巻物というものの特徴や見方を理解する
学習テーマ	中世のものづくり～中世の人々の働く姿を描いてみよう～
学習の流れ	①学習のねらいと学習テーマを確認する。
	②クラスを 5 班に分け、班ごとに学習テーマを確認する。 1 班 機を織る人、染め物をする人など 2 班 食べ物を生産する人 3 班 料理をする人 4 班 鉄を作る人、鋳物を作る人 5 班 大工
	③生徒は、図書を一人 2 冊ずつ選ぶ。 ※注意：目的の絵が見つからない場合はブックトラックに残っている図書を利用する。絵が見つかった生徒は、不要になった図書をすぐにブックトラックに戻す。
	④生徒は、図書からテーマに合う働く庶民の絵を探す。（目次や索引を活用する）
	⑤トレーシングペーパーに庶民の姿を模写する。
	⑥トレーシングペーパーに記載することを確認する。 【記載すること】 <ul style="list-style-type: none"> ・働く庶民の模写（黒ボールペンと色鉛筆で仕上げること） ・絵の題名 ・（絵の説明） ・絵の元になった絵巻物名（出典を明らかにする） ・使用した図書の整理番号 ・自分の名前
	⑦描いた絵を画用紙に貼る（画用紙は班で 1 枚～2 枚）
⑧最後に、全部の班の画用紙を貼り合わせて絵巻物にする。	